

現況：平成 24 年度決算状況

収益については、入院収益は、入院延患者数が9,669人増加し、108,991人となったため病床利用率は85.8%で対前年度比 7.8 ポイント増加した。1 日 1 人当りの診療単価は対前年度比 590 円高くなり 71,079 円となったことから 7,747,002 千円で対前年度比 745,899 千円増となった。

外来収益は、外来患者数が対前年度比 897 人増加し、205,490 人となり、1 日 1 人当りの診療単価は対前年度比 146 円高くなり 13,353 円となったことから 2,743,871 千円で対前年度比 41,761 千円増となった。

運営費負担金は、移行前地方債債務償還金に対する繰入 326,673 千円を含め 649,644 千円となり、対前年度比 15,751 千円増となった。

補助金等収益では寄付講座に係る助成金 99,000 千円の交付等により、対前年度比 101,602 千円増の 214,534 千円となった。

また、救命救急センターの運営受託による収入として 1,891,863 千円で、改修工事完了に伴い対前年度比 407,824 千円増となった。

次に、費用については、医業費用の給与費で医師・看護師の職員の増などにより、対前年度比 517,578 千円増の 5,515,444 千円を計上した。

経費については委託料で医事業務の仕様見直し等により、委託経費の減少等で対前年度比 18,793 千円減の 1,743,993 千円を計上した。

減価償却費は医療機器等の新規取得により、対前年度比 46,796 千円増の 840,518 千円を計上した。

受託事業費の中には、救命救急センターの運営費用として 1,891,863 千円が含まれており、一般管理費として 476,497 千円を計上した。

その結果、当期純損益では 582 千円の純利益とわずかながら黒字決算となり、経常損益も 79,310 千円の利益を計上した。

収支計画

区分	決算額
収益の部	14,018
営業収益	13,755
医業収益	10,711
運営費負担金収益	650
運営費交付金収益	370
補助金等収益	215
資産見返運営費負担金戻入	1
資産見返補助金戻入	30
資産見返工事負担金等戻入	5
受託収入	1,956
分担金収入	69
その他営業収益	80
営業外収益	263
運営費負担金収益	152
寄付金収益	1
その他営業外雑収益	110
臨時利益	1
費用の部	14,019
営業費用	13,299
医業費用	10,879
給与費	5,328
材料費	2,938
経費	1,743
減価償却費	841
研究研修費	29
受託事業費	1,943
一般管理費	476
営業外費用	640
臨時損失	80
純利益	1
総利益	1

資金計画

区分	決算額
資金収入	15,675
業務活動による収入	13,707
診療業務による収入	10,542
運営費負担金による収入	848
運営費交付金による収入	
補助金等収入	185
救命救急センター事業受託による収入	1,818
その他の業務活動による収入	314
投資活動による収入	27
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	27
財務活動による収入	395
長期借入による収入	395
その他の財務活動による収入	0
前年度からの繰越金	1,546
資金支出	15,039
業務活動による支出	13,351
給与費支出	5,371
材料費支出	2,970
救命救急センター事業受託による支出	2,103
その他の業務活動による支出	2,907
投資活動による支出	200
有形固定資産の取得による支出	175
無形固定資産の取得による支出	7
その他の投資活動による支出	16
財務活動による支出	1,488
長期借入の返済による支出	
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,385
その他の財務活動による支出	103
次年度への繰越金	636